

3月3日 誠真会館 合同審査会 合否結果

審査内容

氏 名	基本手技	基本蹴り技	移動手技	移動足技	型	組手	補強	合・否	コメント
幼・少年部									
加藤 晴	8	10	9	10	9		◎	オレンジ帯昇級	基本稽古の上段受けが内側から出るところを直す。移動稽古の追い突きの出だしミス。 型では、後半だんだんと腰が浮いてくるので最後まで集中する。
安川 理玖	10	10	10	9	9		◎	オレンジ帯昇級	足技の高さが◎ 横蹴りと前蹴りの違いがもっと出るとよい。移動稽古では、下を向く癖があるので直していきましょう。
岡野 駿一	8	8	8	8	8		◎	オレンジ帯昇級	体のブレが大分少なくなってきました。もう少し気迫があればもっと良くなります。 技のスピードは◎
竹村 遙馬	9	8	10	8	9		◎	オレンジ帯昇級	手技においては、前回の審査よりも強さが増してます。足技は高さが出ました。 成長を感じる今回の審査でした。ふらつきとバランスの乱れを直せるとよい。
大山 寛太	9	9	9	8	8	9	△	赤帯昇級	強さに声の大きさが◎ 体の勢いにつられて頭が前後上下するので体の強さにつられずに顔を常に前に置く。 移動稽古では下を向く癖があるので直せるとよい。
齋藤 心寧	8	8	8	10	9	9	◎	赤帯昇級	前回の審査の時よりも審査に取り組む姿勢が変わりました。全部の技をがんばろうという努力がみれました。全体敵にキレやスピードがないので普段の稽古から全力で取り組むこと。 足技では高さが出るとよい。
足立 丈太郎	9	9	9	9	9	9	◎	赤帯昇級	型試合出た事で全体的に良く出来ていました。組手で上段蹴りを貰う事があったので、改善していきましょう。集中力が途中で切れることがあるので、最後まで気を抜かないこと。
井上 湊太郎	8	8	8	8	8	8	○	赤帯昇級	普段の稽古も審査同様に真剣に取り組めば、もっと上手く強くなれる。全体的にだいたい出来ている感じなので、もっと強さやキレなど技の強さを求めてほしい。 今後に期待したい。
関根 陽哉	10	9	10	9	10	10	◎	赤帯昇級	手技では、力強さが◎ 即技では、若干の頭の動きがなくなれば10点です。移動稽古の足技では横蹴りが低いので腰よりも高く上げよう。それ以外は◎。
加藤 成将	10	10	10	9	10	9	○	赤帯昇級	一つ一つの技が丁寧で精度も高くしっかり出来ている。移動稽古の足技での若干のバランスの崩れ。前屈立ちの後ろ足のひざの曲がりがないと◎。
中島 湊太	10	10	10	10	10	10	◎	水色帯昇級	強さ・スピード・キレが素晴らしいです。 組手につながる技の精度があり飛び級です。

■赤帯以上から、審査基準が厳しくなります。									
藤原 颯太	9	9	8	8	8	9	◎	水色帯昇級	前屈立ち後ろ脚の曲がり、腰の高さを改善出来ると、もっと良くなります。 組手の積極性とフットワークを使っの攻防がよい。
関原 樹	9	9	9	9	10	9	×	青帯昇級	型試合出た事で良く出来ていました。他道場の先生に型を評価されたのは立派。 但し、補強のスクワットはもう一つ。 フィジカルを鍛えよう！
太田 輝	9	10	10	9	9	8	◎	紫帯昇級	足技は高さもあり指先まで意識されており、とても良いです。移動で後ろ蹴込みへのふらつきはもったいなかった。 全体的な出来は◎。
一般部									
戸田 蒼太	7	7	8	6	8	8	△	保留	全体的にキレやスピードがない。 体のブレもあり、稽古不足を感じる。 移動稽古での回転のブレ・体の崩れを直してから道場内で再審査します。
高橋 景虎	10	9	9	8	8	10	◎	茶帯一本線昇級	蹴りの時に体が強張る感じがある。 移動稽古の若干のミス、型のミスがあり。 技のひとつひとつの出し方は丁寧です。

※補強審査は、一般は黄帯以上から、幼・少年部は、オレンジ帯以上から審査結果に影響致します。
※6点以下は、一つでもあれば不合格もしくは、保留になります。